

Title	言語文化研究科修士学位論文題目
Author(s)	
Citation	大阪大学言語文化学. 2002, 11, p. 130-132
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/77984
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

言語文化研究科修士学位論文題目

以下は、平成 13 年度大阪大学大学院言語文化研究科博士前期課程修了者の氏名および修士論文の題目である。

池内由紀子

ドイツにおける日本イメージ

—2000 年 Der Spiegel 誌の日本関連記事を中心として—

一瀬 陽子

古事記における語り手の位相

岩男 考哲

日本語の文末表現「ッテ」についての考察

大森 啓子

A.L.グリムのメルヒェン

—グリム兄弟『子どもと家庭のメルヒェン集』との比較を通して—

加藤 真理

英語学習体験に関するナラティブ分析

—日本人英語学習者へのインタビューを通して—

神田麻衣子

エブラヒム・フセイン『悪魔たち』にみる植民地化の歴史

重親知佐子

日本イスラーム史理解のための一考察 —山岡光太郎の歩んだ道—

島田 美和

「南京の十年」(1928-37 年) 期における南京国民政府のモンゴル人教育政策の展開

杉浦 清文

A Creole Woman's Homeland :Jean Rhys and her *Wide Sargasso Sea*.

田中 裕子

「総合的な学習の時間」における国際理解に関する学習の一環としての英語—
—教材に国際理解の視点は反映されているか—

仲 潔

言語政策としての JET プログラム

中川亜紀子

異言語教育における文化の問題

—「外国語としてのドイツ語」(DaF)の教材を例に—

藤田 純子

カナダケベック州フランス語化政策と移民

—中国系コミュニティの事例を中心に—

村本 直子

『西遊記』にあらわれる「手」のメトニミーに関する一考察

山下 隆史

日本語教育教室における日本語学習者の活動のケーススタディ

—活動理論の観点からの分析—

朴 珣英

“Nobody Can Be Represented by Anybody Else”:

Frederik Douglass's Politics of African-American Uplift.

シャニタラソククラ, チラニン

タイ人日本語学習者におけるムードの「のだ」の習得

周 屹

日中両言語の不定表現の比較研究

—日本語の不定指示詞文を自然な中国語にするには—

ソー, ファイ サン

Language, Socialization and Identity among Chinese in Singapore

羅 曉勤

交換留学生の日本語学習過程に関する基礎的研究

奥羽 充規

日本の英語第2公用語化論に関する諸問題

北山 夏季

日本人とベトナム人との談話におけるコードスイッチングへの一考察

高見 正樹

イントネーションと会話者の心的態度に関する一考察

永田 明美

ポウの物語における女性像をめぐって

—「モレラ」・「ライジーア」・「黒猫」を中心に—

浜田 千理

メディアリテラシー概念の市民的普及に関する一考察
—大阪府島本町議会議員選挙とその後の状況を通じて—

林 恵理子

現代日本人の恋愛観・結婚観
—ネット恋愛における親密性の形成をめぐって—

村井 純子

Complex Predicates and Reciprocity

林 純芬

「謙讓（遜）表現」をめぐる日本人と台湾人比較研究